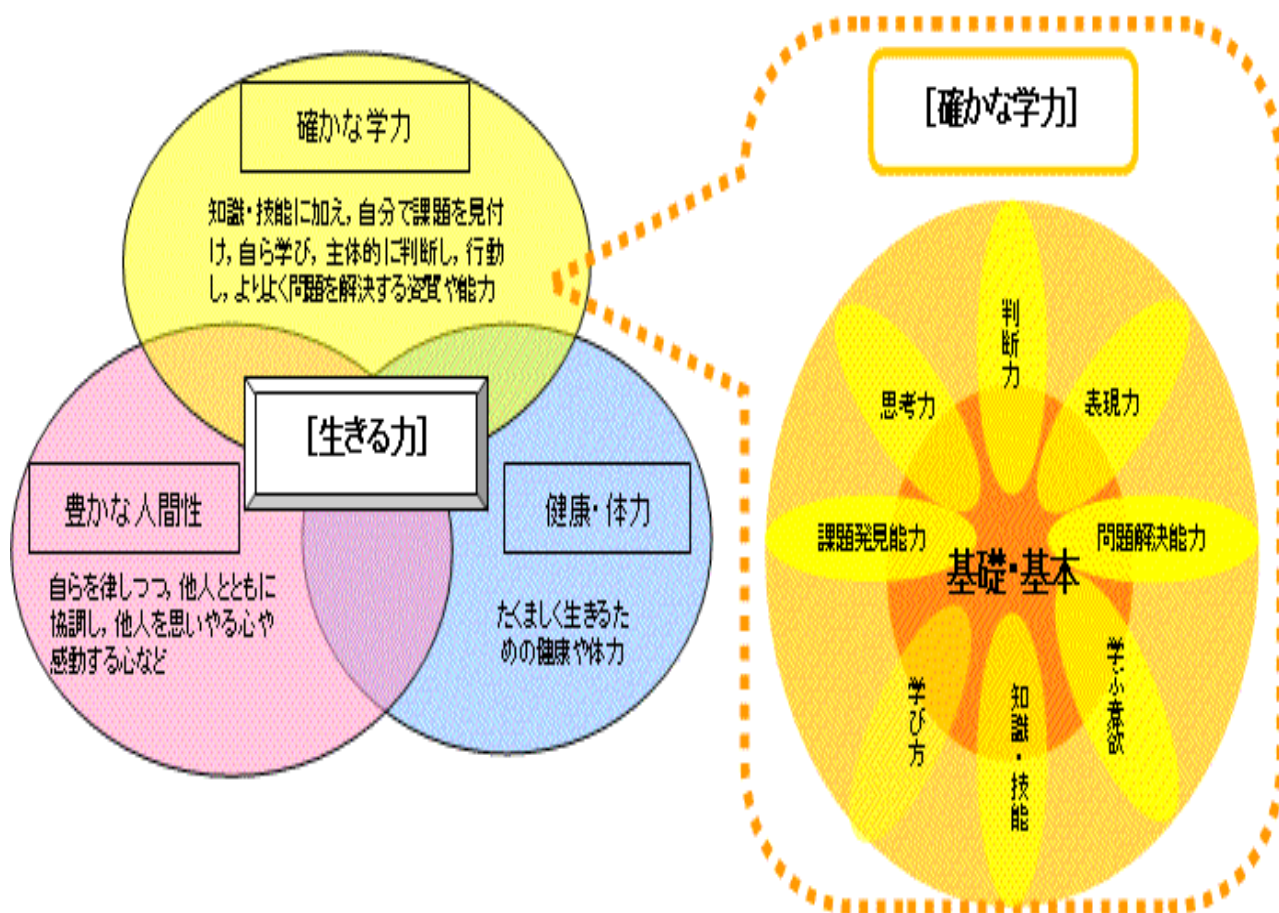


2 研究主題のとらえ方

(1) 「確かな学力」について

確かな学力とは、知識や技能に加え、思考力・判断力・表現力などを含むもので、学ぶ意欲を重視した、これからの子どもたちに求められる学力と考える。



「生きる力」を知的側面からとらえた「確かな学力」の構成要素

中央教育審議会答申（平成15年10月より引用）

3 めざす子ども像

- 互いの立場や考えを尊重しながら言語で伝え合う子ども（「話すこと・聞くこと」）
 - ・ 相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて話したり、相手の話の中心や意図を聞き取ったりすることができるとともに、進んで話し合うことができる。
- 自分の考えを文章で表現する子ども（「書くこと」）
 - ・ 相手や目的や意図に応じ、自分の考えや意図などが伝わるように語や文の続き方や段落などの構成を工夫して文章を書くことができる。
- 文章を正確に読み取る子ども（「読むこと」）
 - ・ 目的に応じ、内容の中心、要旨をとらえながら読むことができる。
 - ・ 言語を手がかりとしながら論理的に思考したり豊かに想像したりして読むことができる。

